

トピック(テーマ)		淀川茂重と研究学級
ねらい		「児童の教育は、児童にたちかえり、児童によって、児童のうちに建設されなくてはならない」という決意をもって、大正6年(1917)から開始された長野県師範附属小学校の研究学級の教育実践は大正新教育運動に大きな驚きと影響を与えるものであった。この研究学級の取組内容と教育史的意義について理解を深める。
キーワード		長野県師範附属小学校 杉崎 瑠 淀川茂重 田中嘉忠 研究学級 新教育運動 実験心理学 児童研究
概要を知るためのツール	1	書名 信州近代の教師群像(淀川茂重)
		著者名 中村一雄／著
		出版社 東京法令出版
		出版年 1992.6
		内容紹介 淀川茂重は大正7年から第2回の研究学級を担任した。その実践は「途上」(大正8年)「郊外」(同9年)「六年を顧みて」(同13年)として『信濃教育』に発表され、3編を合わせて『研究学級の経過』が発刊されている。淀川の経歴、教育研究の概要について知ることができる。
資料リスト	1	書名 教育は国民の生活とともにある(淀川茂重先生遺稿集)
		著者名 淀川茂重先生遺稿集刊行会
		出版社 信濃教育会出版部
		出版年 1957.11
		内容紹介 淀川茂重の遺稿集である。研究学級の3編の教育実践、調査研究、小説、出版部日より、翻訳、年譜を収録している。
	2	書名 信州近代の教師群像(杉崎 瑠)
		著者名 中村一雄／著
		出版社 東京法令出版
		出版年 1992.6
		内容紹介 長野県師範附属小学校の研究学級の実践を理論的に指導・助言をしたのは杉崎瑠である。彼は静岡県師範学校から長野県師範学校へ赴任している。このとき附属小学校では国定教科書による授業研究行きづまりを打開するため、教科書と時間割の枠をはずし、児童の生活に立脚した新しい教育を創り出そうとしていた。欧米の新教育運動の影響をうけ、実験心理学の研究対象として、研究学級の実践は取り組まれていった。
	3	書名 信州人物誌
		著者名 田島清 他／編
		出版社 信州人物誌刊行会
		出版年 1971.4
		内容紹介 長野県師範学校附属小学校に研究学級が設置されたのは大正6年のことで、第1回生は田中嘉忠が担任し、7年入学の2回生は淀川茂重が担任した。淀川の教育記録は「途上」「郊外」「六年を顧みて」として発表された。後に『研究学級の経過』にまとめて刊行されている。
インターネット	1	サイト名 国会図書館サーチ
		URL <a href="https://iss.ndl.go.jp/">https://iss.ndl.go.jp/</a>
		概要 淀川茂重と研究学級に関する図書、記事論文を探すことができる。
	2	サイト名 信州ブックサーチ
		URL <a href="https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html">https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html</a>
		概要 淀川茂重と研究学級に関する図書、記事論文を探すことができる。

新聞	1	見出し	裾花川の河川敷 遊びや学びも
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊 16ページ
		年月日	2003.5.15